



## 地方独立行政法人化の撤回と今後の運営形態等について

財団法人浜松市医療公社理事長の鈴木でございます。日頃、市民の皆さまには、医療センターの運営に際しまして何かとご理解ご支援をいただきありがとうございます。

このたび、医療センターはこれまで予定計画していました地方独立行政法人化を撤回し、現在の公益財団法人から一般財団法人化を目指すという方針転換をしましたので、この経緯につきまして、改めて私からご説明させていただきます。

現在、医療公社が運営する医療センターの経営は昨年7月に策定した「経営健全化アクションプラン」の着実な実行の結果、平成21年度決算は医療センター全体で1億7千万円の黒字を確保し、大幅な収支改善が進みました。

一方、私ども医療公社では、地独法人移行のための準備作業も行ってきました。検討が進められる中で地独法の制度運用面での不都合や諸課題が明らかになり、当初目的であった抜本的な改革による医療センターの自主的、自立的経営の実現が困難であるとの考えに至りました。

こうした経緯とともに、現在の病院建物、設備は予想以上に老朽化していることから、このままでは将来的に高度な医療サービスなど安全、安心な地域医療を提供し続けることは難しいため、より優先的重要課題として病院の建て替えも含めて地独化について改めて検討を重ねてまいりました。その結果、理事全員の総意として地独法人でない運営形態、つまり新病院の早期建設を前提に、まずは「浜松医療センター」というすっきりとした病院名称にするとともに、新たに利用料金制を導入し会計の一元化、明確化を図るなどの規程改正により、当面現在の公社をリニューアルし継続させ、その後、より民間的経営手法が可能な一般財団法人へ移行することが最も妥当であるとの結論となり、市に対してこのような提言、要望した次第であります。

これを受けて市は、86億円という移行に伴う巨額な初期投資と病院建て替えによる追加投資は病院存続が危ぶまれるとの判断から地独化の計画は撤回し、基本的に公社理事会からの提言に沿った運営方針に転換することにいたしました。

併せて市は公社側からの要望事項である救急・小児・産科医療等の不採算医療に対する財政支援7億円を上限として引き続き交付すること、さらに、過去の負債である180億円は市が返済し、未引当の退職金債務44億円も市が保証することとしたものでございます。

今後、市は9月の市議会でのこれからの医療公社の骨組み等について説明・了解のもと、来年2月の市議会に必要な関係条例を改正し、4月からの新たなスタートに向けた手続きをしてまいります。

市が地独化を表明した平成20年6月から2年余りの間、市民の皆さまには何かと不安や戸惑いなどご心配をお掛けし申し訳ありませんでした。今後は先に説明させていただいたとおり、当分の間は現在の公社での事業運営を継続しながら、新たな病院像を構築する中で、新医療センターの建設と一般財団化に向けて再出発します。これからも「笑顔で挨拶、明るく元気に」をモットーに市民に頼られ親しまれる病院を目指してまいりますので、よろしく願いいたします。

(文責:理事長 鈴木 伸幸)

## 医薬品情報(Drug Information)

医薬品の情報は、研究によって得られた情報や、実際に病院で使用されたときの効果・副作用の情報だけにとどまりません。

患者さんに合ったお薬を選択するため、一般用医薬品(薬局・薬店で購入できる医薬品)や健康食品・飲食物との飲み合わせ、個々の体質(アレルギーなど)や病状との組み合わせなどの情報も必要です。また、海外からの報告も重要な情報源となります。

医薬品情報室では、お薬に関する様々な情報を集め、信頼性や妥当性を評価したうえで、情報の提供を行っています。

受診される際には、お薬を適切に使用するための情報をお知らせください。

### お薬の服用歴

処方されたお薬だけでなく、一般用医薬品についても使用状況をお知らせください。飲み合わせやお薬の重複を避けるために重要です。「お薬手帳」をご活用ください。

### アレルギー歴

アレルギーは2回目以降、その症状がひどくなることもあります。

お薬はもちろん、食物・金属などのアレルギーがあればお知らせください。

### 副作用歴

副作用の経験がある場合、そのお薬を再び使用すると副作用も再び現れる可能性があります。

### 健康食品の使用歴

健康食品のなかには、お薬との飲み合わせが悪く、お薬の効果が弱まったり、強まることで副作用につながったりすることがあります。

### 飲酒・喫煙歴

喫煙によりお薬の効能に影響が出ることがあります。また、お薬を服用後に飲酒した場合には、お薬の吸収が変わり、思わぬ作用が現れることがあります。

(文責:薬剤科長 片山 一孝)



## メディカルバースセンター愛称報告

県西部浜松医療センター内のメディカルバースセンターは、産科医がバックアップの中で助産師が大きく関与する新しいスタイルで出産できる施設です。このセンターがより親しまれるように、センターの愛称を公募した結果、181点の応募がありました。

そして選考の結果、「めばえ」に決まりました。

愛称の由来は、幸せを与えてくれる天使のような赤ちゃん。メ、ディカル、バース、エンジェル(天使)の頭文字から命名したもので、新しい生命が誕生する素敵な場所がイメージされ、また芽生えからの健やかな成長という願いが込められています。

この愛称が地域の方々に親しまれ、より多くの赤ちゃんが誕生することを願っております。

(文責:経営企画課長 榊原 智宏)

